



## ◆◆ 本年度会長方針 ◆◆

## 「和のこころをつなげよう」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000  
 会長/中井 克洋 幹事/佐伯 敬男

## 事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号  
 廿日市市商工保健会館4F  
 TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491  
 E-mail / office20@h-hrc.com  
 URL / http://www.h-hrc.com/

## 第778回 広島サンプラザ 2013年6月3日

## 会長時間



## 会長 中井 克洋

これが私の最後の会長時間になろうかと思いません。

本日は米山留学生のミカンちゃん(ナラッタポンさん)に来ていただいて、さきほど今月の奨学金を

お渡しいたしました。

本年度、何回か申し上げてきたように、私はこの米山留学生制度をはじめとして、外国から勉強にきている留学生を我々が支援するというのは大変大切な素晴らしいことだと思っております。

うちがかつて受け入れた中国の汪さんや韓国の朴さんたちもそうでしたが、優秀な人材がせっかく日本にきてくれたのに学費や生活費を捻出するためにアルバイトに時間をとられて勉強に専念できないというのは、とてももったいないことです。そして5月の平和フォーラムでも米山奨学生のセッションがあり、東京に米山留学生を中心としたロータリークラブがあることが紹介され、彼らがかつての米山留学生から日本に大変感謝していることが力説されました。

世界の発展のために有為の人材を育てるという観点からも、日本が世界から尊敬と感謝をされる国としてあり続けるためにも、留学生に対する支援は大切だと思います。

ところで米山留学生などの公式の制度は、その決定まで時間がかかるという問題点があります。しかし例えばうちでも朴さんを継続支援したように、米山留学生の期間が終わってからも今少し支援が必要な人がい

ますが、迅速な援助を受けることは難しいことが多いようです。

私の法律事務所では、かつてある大学から「3月までで支援が終わるが、卒業は10月なのであと半年支援していただければありがたい真面目な留学生がいる。」とっていただいた人を援助したことがあります。今年度中にもしそのようなお話がくれば、クラブとしての支援を検討していただきたいと思いましたが、その機会はありませんでした。しかし今後もそのようなお話があれば、ぜひ支援をご検討いただきたいと思いますので、そのときには宜しく願います。

それでは今年1年、本当にありがとうございました。

## 幹事報告

## ①新旧夜間理事会

本日18:30~、1階レストランにおきまして夜間理事会を開催します。本年度および次年度理事役員の方はご参集ください。



## ②国際ロータリー日本事務局 事務所移転

国際ロータリー日本事務局より、事務所移転の連絡がありました。5/27(月)より、東京都北区赤羽から、港区三田に移転し、「奉仕室」の名称を「クラブ・地区支援室」へ変更となりました。詳細は、例会時にホワイトボードに掲示しますので、ご覧ください。

## ③次年度会員名簿

原稿を回覧しております。修正がございましたら、ご記入ください。

## 卓 話



## 退会のご挨拶

尾崎 宏明 会員

私は来る6月19日に開催されます、広島観光開発および宮島松大汽船の株主総会の終結の時をもちまして、両社とも取締役社長を退任することになりましたので、同日をもって広島廿日市ロータリークラブを退会することになりました。

昨年入会させていただき、3月30日の夜間例会に初めて出席し、わずか1年3カ月と短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。

中井会長がめざしておられました会員増強と退会者ゼロという目標に水を差すことになり申し訳ありません。

その間、広島廿日市ロータリークラブの会員同士の非常に良い雰囲気の中で活動させていただき、昨年9月のRYLAや裏方ではありましたが先日の世界平和フォーラムなど、めったに経験することもないであろう行事にも参加させていただき、貴重な体験となりました。

特にRYLAは短い加入期間の中で私の職場であります宮島で行われたということで、なにか因縁めいたものを感じております。

また、2013年度には親睦・家族委員長に御指名いただき、皆様から家族を含めた旅行などを行ってはどうかというご意見もありましたので、それを考慮した事業計画も出したばかりでしたが、実行することできませんでしたので、事業計画の見直しを含め新委員長さんにお任せしたいと思います。

今後につきましては、6月27日に開催される広島電鉄の株主総会で承認されましたら、常任監査役として広島電鉄で仕事をいたします。

広島廿日市ロータリークラブを離れましても、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、宮島に来られる時は、宮島ロープウエー及び宮島松大汽船のご利用もよろしくお願いいたします。

## 誕生日祝

渡邊 英晶 会員 昭和28年6月10日 60歳

## スマイルボックス

中井 克洋	川口 哲司	森井 紀夫
有田 晴好	渡邊 英晶	河内 正晴
二村 一弘	吉野 篤敬	



## 第 779 回 広島サンブラザ 2013 年 6 月 10 日

### 幹事報告

#### 次年度理事会

本日例会終了後、3階「末広の間」におきまして、次年度理事会を開催します。次年度理事役員の方は、お集りください。



### 卓 話

#### 広島にとって失ったものは大きい

広島市議会議員 **児玉光禎** 様

広島西飛行場存続並びに東京便復活運動にご協力くださいました皆様に誠に残念な結果となりましたが、その経緯を御礼の気持ちを込めましてご報告申し上げます。



昭和三十六年に開港した広島空港は、平成五年に現在の三原市に移転の後、広島西飛行場として存続されました。定期便を持つ空港として全国で始めて五十一年間の役目を終えることとなり、平成二十四年十一月十五日、多くの市民の期待を裏切って廃港となりました。

広島市長は、市長就任の所信表明で、「都市の内外を結ぶ陸・海・空の交通体系は、活力と賑わいを呼ぶ重要なインフラであり、物流や旅客輸送において、時間とコストの競争力を持つ高速性と定時性に優れたネットワークを備えなければなりません」と述べておられます。

広島西飛行場を廃港にすると言われるのは全く矛盾しています。このことは広島市の将来の発展の芽を摘むことであり、広島市長として許されないことと多くの市民が思っています。

また、平成二十三年四月十日に市長が選挙で当選され、その間もない五月二十七日に、知事との話し合いで市民や議会に相談せず、また多くの市民や経済界が

存続を望んでいたにもかかわらず市長自身が独断で廃港を決定されました。広島西飛行場は防災面でも重要な都市機能施設であります。もし、広島市百十七万市民に、神戸地震のような大災害が起こった時、一分一秒でも早く救助隊が到着でき、救援物資が届いて、市民を救うことが必要で、その事ができてこそ安心・安全の街づくりの基本であると思います。市長の最も大切な役目である筈なのに、広島市民の生命と財産を守ることを放棄してしまっは広島市長としては失格です。

広島県にとっても、広島市にとっても、また、現在もさること乍ら未来を担う子供たち、孫達にとっても大損失であると思います。かつて広島県知事は日本一住みよい広島県をつくると言っていましたが、今回の知事や市長の愚行に多くの市民は失望しています。

今度のことは誠に残念の一語ですが、廃港された現在でもなお、私たちのもとには「跡地には空港以外に活性化するものなど考えられない」など存続を強く願う市民の声が多く寄せられています。いつの日にか、百十七万人の広島市のそばに、空港を復活することができればと願う次第です。

本当にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますと共に、皆様の今後のご多幸とご健勝をお祈りいたします。



### スマイルボックス

尾崎 宏明 川崎 尚 藤岡 哲也  
渡邊 英晶 植田 敏揮

### 結婚祝

藤岡 哲也 会員 記念日 6月28日  
植田 敏揮 会員 記念日 6月25日



### 会長時間

クラブ研修リーダー **森井 紀夫** 会員

4月8日の第772回例会 卓話で

- ・ロータリーとは
- ・会員に求めること
- ・例会は人生の道場
- ・例会は・・・

などを話しました。

特にロータリーの会員からロータリアンへ、即ち、ロータリーを知っているだけでなく実行・実践するロータリアンになろうということです。

今月は「ロータリー親睦活動月間」です。ガバナー月信で、大之木ガバナーは、ロータリーの親睦は、フレンドシップではなく、フォローシップである。フレンドシップは、一般的親交や友達付き合いとに分け隔てのない交歓で、フェローシップは利害を同じくし同志的結束を重んじる精神的結び付きである。従って、ロータリーの友愛にとっては共に欠くべからざる基本的要件と考えるが妥当だと考えています、と。

また、今月の「ロータリーの友」友愛の広場に「ロータリーの神髄-それは慈愛の心-」と題しての投稿記事がありました。

「慈愛の心」は、相手をよく理解し、相手の立場になって考え、相手に優しい心を投げかけること。「いたわりの心」といってもいい。この難しいことを実践することがロータリー活動の神髄ではないだろうか。

慈愛の心を求め、それを自らの中に育もうと自分に厳しく、他人に優しく修行するのがロータリアンである。

ロータリーは、単に「親睦」と「奉仕」の団体ではなく、「親睦」と「奉仕」と「慈愛」の団体と心得たい。と記述されています。私は同感だと思います。

皆様は如何お考えでしょうか。

追加して申し上げますが、親睦活動の中には我々のクラブの同好会活動、インフォーマル・ミーティング



も含まれています。

ロータリー会員は、出欠の返事、依頼された事は速やかに回答する。例会欠席の場合も必ず事前に連絡する。など実践するロータリアンにまず、なりましょう。

### 幹事報告

#### 次回例会

次週 6/24 (月) は、お昼の例会はありません。6/24 (月) は、18:30 ~

シェラトンホテルにおきまして、最終夜間例会です。



### 卓 話

#### 理事役員退任挨拶

副会長・会長エレクト **久保田 幸恵** 会員



私は、10年間廿日市ロータリークラブに在籍しながら、ロータリークラブの事を勉強し理解しようと思わなかったのですが、今年度、副会長に任命され初めてロータリーの信条に向き合いましたが、複雑で今もまだ理解していない事が多いです。

副会長は次年度の会長職の準備期間ですので、執行部の熱心な仕事ぶりを拝見し勉強になりました。気付いた良い点は盗んで次年度につなげたいと思っています。

一年間、理事、役員、委員会の皆様、ご指導・応援ありがとうございました。

また、いつもいつも檀さんにはお世話になり助けてもらいました。ありがとうございます。心より御礼申し上げます。

会員組織常任委員会 理事・委員長 **大藤 良治** 会員  
会員組織常任委員会の委員長を退任するにあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。会員の皆様には、会員増強・維持に格別のご支援、ご協力を賜りありがとうございました。

ご承知のとおり、中井会長年度は会員数 37 名でスタートしました。年度当初、中井会長から「会員増強は、



純増1名以上」というご指示を受けましたが、少し欲張って純増3名以上、会員数40名以上という目標を設定しました。

会員の皆様には、目標達成に向けてご努力をして頂いたところであります。

その結果、本日現在、純増3名、会員数40名の目標を達成することができました。

しかしながら、誠に残念なことに、3名の会員から6月末に退会する旨の申し出がありました。従いまして、久保田会長年度は会員数37名のスタートとなります。

次年度は、会員組織常任委員長を二村会員にバトンタッチいたします。本年度の反省、教訓を踏まえて次年度こそは会員数40名以上を達成して頂くよう既に引継ぎをしたところであります。

9年間という長い間、会員増強・維持を担当させて頂きましたが、会員数40名以上という目標を達成することができず、大変申し訳なく思っています。

永年にわたり、ご支援、ご協力を頂きました皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト常任委員会  
理事・委員長  
渡邊 英晶 会員



ロータリー財団常任委員会 理事・委員長  
河内 正晴 会員



今年度、財団委員長として努力したつもりでしたが、結果は残念なものとなり、大変申し訳ございません。

未来の夢計画に向けての立案、具体的なプロジェクトを計画いたしました。次年度の地区の方針から改めて次年度にて検討することとなりました。

また、資金面においても、もう少し私の努力が・・・によって、次年度新委員長 松本会員へ引継ぎ、後方より応援をさせていただければと考えております。

ロータリー活動の原点は、やはり財団資金です。一会員として廿日市 RC の発展のため、今一層の努力をするつもりです。よろしく。

S.A.A. 委員会  
下向 繁美 会員



会計委員長 松浦 光男 会員  
会計担当の松浦です。



自分自身、会計委員長としてその役目が十分果たせておりませんが、このような中で中井会長をはじめ、理事・役員の皆様、そして事務局の檀さんに助けていただきまして、本日を迎えることができました。まだ会計報告が残っておりますが、この一年大変お世話になりました。ありがとうございました。

副幹事 清水 理也 会員

この度、副幹事をやらせて頂きました。勉強不足でご迷惑をかけた部分が多々あったと思いますが、みなさんにご指導ご協力して頂き、なんとか1年間やり遂げることが出来ました。この1年でまたロータリーへの理解が少し深まったと思います。



今年度で1番印象に残った事はやはり RYLA です。平和と言うテーマもそうですが宮島でのイベントは大変難しい企画だったと思います。最終的に素晴らしいイベントになり、参加させて頂いた事は本当に良い経験になりました。ありがとうございました。

幹事 佐伯 敬男 会員



本年度幹事をさせてもらいました佐伯です。この一年間会長方針の「和の心をつなげよう」をどのように具現かするのか自分流に思いを巡らしながら行動してまいりました。又その間は皆様のアドバイスと御協力お



## 2012～2013 年度

も頂きながら最終月を終わろうとしています。この一年間ほんとうに有難うございました。

思えば昨年の宮島で行われた2012-13年度 RYLA は永井ガバナー補佐及び河内ライラ実行委員長のリーダーシップのもと活動してまさに「和の心つなげよう」を実行することにより大成功したのではないかと確信しております。個人的にも勉強になり歴史を見直す一場面があり大いに参考になりました。

しかし今思えば就任当初は大変に忙しいことばかり目につきましたが、それが自分にとって勉強だと思う

と少しは楽になりました。そして皆様の御協力もと繰り返しになりますがこの一年間を終わろうとしています。本当に有難うございました。また今後ともよろしくお願いします。

### スマイルボックス

下向 繁美	松浦 光男	近藤 英昭
佐伯 敬男	川崎 尚	久保田幸恵
上杉 昌幸	森井 紀夫	澤井 誠

### 第781回 シェラトンホテル広島 2013年6月24日

#### 最終夜間例会



### 幹事報告

#### 薬物乱用防止街頭キャンペーン

6/30(日) 13時45分～ 廿日市市ティナコートにおきまして薬物乱用防止街頭キャンペーンを行います。ぜひご参加をお願いします。



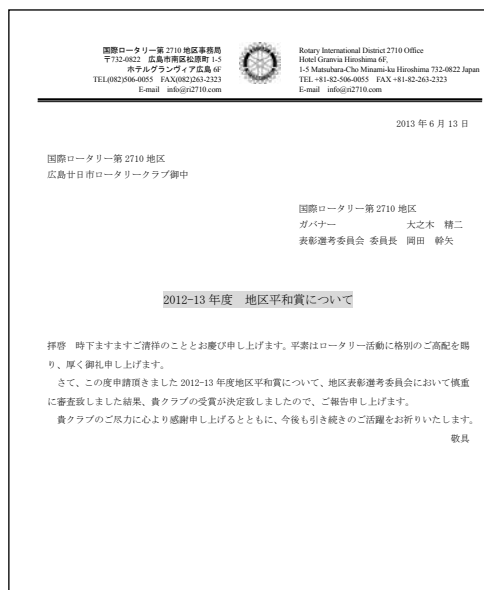
## 活動報告

## 夜間理事会



## 2012-13 年度 地区平和賞授賞

2013年6月13日



## プロジェクトの説明

## ①プロジェクト名

国際ロータリー第2710地区2012～2013年度ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

## ②概要

2012年9月22日(土)午後から23日(日)午前にかけて、広島県廿日市市宮島の宮島ホテルまことにおいて、当クラブが主催者となり、国際ロータリー第2710地区2012～2013年度ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) が開催された。

このRYLAの開講式には、眞野勝弘廿日市市長、大之木精二ガバナー、沖田哲義ガバナーエレクト、筒井数三、川妻二郎、諏訪昭登、岡田幹矢、田村泰三各パストガバナー、第2710地区奉仕プロジェクト委員会新世代奉仕部会の上田功部会長、木下稔副部会長に来賓として参列いただいた。

最終的に、青少年の参加者は68名、来賓を含めたロータリアンの参加者は87名。

今年度の田中作次RI会長の会長テーマ「奉仕を通じて平和を」にちなんで、広島の誇る世界遺産である「安芸の宮島(厳島)」と「平和」とを結びつけた内容のRYLAにしてほしい、という大之木精二ガバナーの要望に添って、テーマは「厳島の奇跡と軌跡に学ぶ～平和の礎はあなたの心に～」とした。



開講式のあと、宮島ユネスコ協会常任理事の岡崎環先生による講演により、宮島において、過去から全く変わらない厳島神社の社殿や島の自然がどうしても昔のままの姿で伝えられてきたか、「伝える」ということがいかに大切であり、またいかに難しいか、ということが詳しく実例をあげて説明された。

その後、研修生全員と大之木ガバナーら我々ロータリアンが宮島棧橋付近に行き、研修生が数人ずつのグループに分かれて宮島観光から帰ろうとしている観光客に対して宮島がなぜ昔のままの姿が伝えられてきたか、という点についてのアンケートをとった。

そして岡崎先生の講義やアンケート結果をもとにして、厳島の例をふまえて、

- ①「RYLAを通じて感じた厳島と平和」(感想)
- ②「今日から築く私の平和」(提言)

について、初日は深夜遅くまで、2日目も朝早くからそれぞれのグループに熱心に議論してもらい、その結果を発表してもらった。

### ③ 特記事項

我々主催者側も、このRYLAが始まるまで、「宮島」と「平和」がどのように結びつくのだろうと思っていたが、講演や発表などをきいて以下のように理解した。

宮島の人達が大切なことを伝えてきた経過のなかには様々な自制や自己犠牲があった。例えば現在では文化財保護法などによる規制があり、建物1つ建て直したり、邪魔になる木を伐るにも一つ一つ許可が必要であり、そのような法律がない時代でも、宮島の人たちは、勝手に島に手をいれると「神様」の怒りにふれるという気持ちで、現状を保つための自制を自らに課してきた。逆に急峻な斜面での土石流などを防ぐためには、川にゴミや竹木などがたまらないように絶えず自然に気を配って自主的に労働するなどの犠牲が必要であった。

これはリーダーシップ論のnoblesse oblige、つまりリーダーには責任が伴う、につながる考え方である。リーダーが、軽率、傲慢、自己中心的な行動をとると、自らをおとしめるだけでなく、周りで支えてくれる人

にも迷惑を掛け、さらに相手に嫌な思いをさせることにより大切なことを「伝える」ことができなくなり、それが人との間で調和を乱し、ひいては「平和」を乱すことにつながる。

これに対して、リーダーが誇りある自制した慎重な行動をとり、謙虚な態度をみせ、人の為の超我の奉仕を行えば、自らが高まるだけでなく、周りの人達も尊敬され、また相手から理解と信頼を得ることができ、その結果、大切なことを相手に「伝える」ことが可能となり、他者との関係で調和が取れ、ひいては「平和」につながる。

「宮島」において「伝える」ということがいかに大切で大変かについて、考察した結果、リーダーシップ論と同じことを教えられ、その自覚と自制が他者との調和である「平和」につながる、ということ、今回のRYLAの研修をとおして研修生の若者達に教えられた。